



2026年：NPOディスレクシア協会名古屋主催

1月28日 水

10:00~12:00

(受付 9:30~)

場所：名古屋市民活動 推進
センター(ナディアパーク6階)



『発達性ディスレクシアの 最新情報について』



無料
会員外
千円

2025年、国際ディスレクシア協会(IDA)が
ディスレクシアの定義を大幅に改訂しました。
では、日本ではどのような定義になるのでしょうか。

日本版の定義づくりを担っておられるのは、
この分野の第一人者である 宇野彰先生 です。

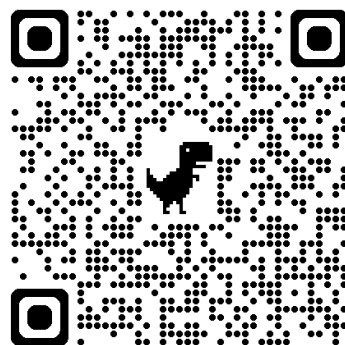
まだ正式な発表前ではありますが、
今回の講習会では宇野先生をお招きし、
直接お話を伺う貴重な機会を設けました。

- ・今後の日本における展望
- ・日本の学校のあり方の理想
- ・合理的配慮の考え方

講師：宇野 彰 先生
(元筑波大学教授)

40
席

言語聴覚士。医学博士。病院勤務、国立精神・神経センター精神
保健研究所治療研究室長を経て2004年より筑波大学。その間
1995-1996カリフォルニア大学デビス脳科学センター客員研究
員。2016-2018筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校校長。
Association for Reading and Writing in Asia (ARWA)の礎となる団体
の発足者(2018年2月筑波大学で国際学会を主催)。千葉県特別
支援教育体制推進事業委員(2001-2015)、船橋市特別支援連携
協議会座長(2004-2019)船橋市特別支援教育専門家チーム座長
(2006-2022)柏市教育支援委員会委員(2019-現在)



申し込み締切 1月24日

<https://forms.gle/PCcob1WRhsv83FrL9>